

グローバル経済研究会
調査研究報告書

観光振興による地場産業活性化について

令和4年12月

はじめに

東広島市議会では、市政に関する重要な政策等及び課題に対して、議員が相互に認識を深め、合意形成を図り、もって政策立案等を推進するため、政策研究会を設置するものとしている。

また、政策研究会では、①市政に関する重要な政策等及び課題についての調査研究、②調査研究結果の議会における共有を所掌事項としている。

本研究会では、令和3年9月から令和4年12月にかけて、「観光振興による地場産業活性化について」をテーマに調査研究を実施した。

グローバル経済研究会 構成議員

- ・会長 景山 浩
- ・副会長 貞岩 敬
- ・会員 片山 貴志
- ・会員 牛尾 容子
- ・会員 岩崎 和仁

- 1 調査研究テーマ 観光振興による地場産業活性化について
- 2 調査研究目的 市内外からの観光等による来訪者を継続して増加させる効果的手法と、それに対応する受け入れ態勢を充実させるための方策を見出す。
- 3 調査手法
 - (1) 市内関係団体との意見交換
 - (2) 新事業の展開について意見交換
 - (3) 市内観光事業者視察・意見交換
 - (4) 留学生の視点から見る本市観光振興の提案
 - (5) 旅行者による本市における観光新事業の提案
 - (6) 他自治体への視察
 - (7) 政策研究会での協議調整
- 4 調査研究期間
令和3年9月から令和4年12月まで
- 5 調査研究経過

年月日	内 容
令和3年 9月 1日	グローバル経済研究会結成（調査内容決定）
10月 4日	第1回会議
10月14日	第2回会議
11月15日	一般社団法人ディスカバー東広島との意見交換
令和4年 2月 9日	第3回会議
2月18日	公益社団法人東広島市観光協会との意見交換
6月 2日	第4回会議
7月 1日	新たな観光事業の聴き取り
	市内観光事業者視察
7月16日	留学生の提案する観光振興案プレゼンテーションに参加
9月29日	第5回会議
10月 5日	東広島市内周遊ツアー造成の提案について意見交換
11月11日	第6回会議
11月29日	先進地視察 鹿児島県鹿児島市及び指宿市
12月23日	第7回会議

6 調査研究内容

(1) 市内関係団体との意見交換

(ア) 一般社団法人ディスカバー東広島

新たに結成された官民合同の観光推進組織においてどのように取組みを進め、観光振興につなげていくのかについて、意見聴取・意見交換を行った。

- ・実施日 令和3年11月15日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(イ) 公益社団法人東広島市観光協会

一般社団法人ディスカバー東広島との役割分担と観光協会独自の事業推進について、さらに今後の活動の展開及び抱える課題について意見聴取・意見交換を行った。

- ・実施日 令和4年2月18日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(2) 新事業の展開について意見交換（株式会社マイコンシェルジュ他）

東広島市をターゲットに新たな視点で観光事業を展開しようとしている事業者の方々を招いて意見交換を行った。

- ・実施日 令和4年7月1日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(3) 市内観光事業者視察・意見交換

東広島市で観光事業を営まれている事業者の方を訪問し、抱えている課題及び行政等に対する要望について意見交換を行った。（道の駅湖畔の里福富他）

- ・実施日 令和4年7月1日
- ・実施場所 東広島市福富町・豊栄町
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(4) 留学生の視点から見る本市観光振興について（広島大学留学生）

留学生の視点で考える東広島市の観光振興について、6つのグループによるプレゼンテーション・セッション（スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー）に参加し、提案を受けた。

- ・実施日 令和4年7月16日

- ・実施場所 広島大学ミライクリエ
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(5) 旅行業者による本市における新事業の提案（株式会社日本旅行広島支店）

大手旅行業者の企画担当の方をお招きし、東広島市をターゲットとするツアー作成について提案を受け、意見交換を行った。

- ・実施日 令和4年10月5日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(6) 他自治体への視察（公益社団法人鹿児島観光コンベンション協会・指宿市産業振興部スポーツ振興課）

MICE及びスポーツ合宿誘致を積極的に行われている団体及び自治体を訪問し、取り組みの内容及び今後の課題について意見聴取・意見交換を行った。

- ・実施日 令和4年11月29日
- ・実施場所 鹿児島県鹿児島市・指宿市
- ・実施内容 別紙報告書のとおり

(7) 政策研究会での協議調整

(ア) 今後の調査研究のテーマについて手法、時期及び内容について協議した。

- ・実施日 令和3年10月14日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室
- ・実施内容 調査研究テーマについてアグリツーリズム、スポーツツーリズム、地域移動課題の解消及びインバウンド観光推進等様々な意見が出されたが、共通項として「観光」の課題が抽出され、新組織DMOの取組みに関して意見を聞くことから始めていくこととなった。

(イ) 東広島市観光協会について調査研究するための手法、時期及び内容について協議した。

- ・実施日 令和4年2月9日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室
- ・実施内容 一般社団法人ディスカバー東広島との役割分担について、人的交流等の連携方針について調査研究することとし、日程の調整を行った。

(ウ) 市内観光事業者について調査研究するための手法、時期及び内容について協議した。

- ・実施日 令和4年6月2日
- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室

- ・実施内容 聴き取り先を①株式会社マイコンシェルジュ②株式会社MMGインターナショナルサービス③株式会社スペースアビエーション④道の駅湖畔の里福富⑤有限会社トム・ミルクファーム⑥株式会社リ・カムアクロスとし、①～③は市役所で、④～⑥は現地において聴き取りすることとし、質問内容を事前に取りまとめることの確認及び日程調整を行った。

(エ) 市内観光事業者調査研究及び広島大学で行われたプレゼンテーションのまとめ、並びに旅行代理店による市内周遊ツアー提案について協議した。

- ・実施日 令和4年9月29日

- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室

- ・実施内容 別紙報告書のとおり

また、次回旅行代理店の企画担当者に東広島市をターゲットとしたツアー案のプレゼンテーションを受けることについて協議し、日程調整を行った。

(オ) 他団体及び自治体について調査研究するための手法、時期及び内容について協議した。

- ・実施日 令和4年11月11日

- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室

- ・実施内容 視察先を公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会及び指宿市産業振興部スポーツ振興課が取り組んでいる「いぶすきフットボールパーク」とし、コンベンション及びスポーツ合宿誘致の手法について調査研究することとし、質問項目の取りまとめ及び日程調整を行った。

(カ) 調査研究報告書のまとめについて協議した。

- ・実施日 令和4年12月23日

- ・実施場所 東広島市役所第2委員会室

7 研究会で出された主な意見等

○公共交通が不便なので、観光振興が難しい。交通手段とセットになった観光プランを作成する必要がある。

○観光推進組織相互の連携が不十分ではないか。新たな連携会議体を創設し、役割分担をはっきりさせ、コーディネーター的人材を登用しながら推進していくべきではないか。

○東広島市の観光資源は、日本酒及び酒蔵観光がどうしても中心となる。観光客誘致のために歩行空間の改修等、受け入れに向けた施設整備が重要である。

- 大学、研究機関及び先端産業が集積している東広島市に、もっと人を呼ぶ学会及び研究会等の誘致を市全体で行っていく必要がある。
- 本市観光事業者は個人経営が多く、圏域で連携している組織もあるが、大量の送客に対応するには無理がある。少しずつ送客を増大させ、売り上げを増やし、事業者の経営基盤を徐々に強化していく方策が重要ではないか。
- 本市観光事業者のなかには、オンリーワンのユニークな経営を行われている方も多くあり、PRをしっかりと行っていく必要がある。
- 広島市を訪れる観光客に対し、宿泊には限度があるにしても観光で東広島に引き寄せる取組みを推進すべきである。
- 指宿市のようにスポーツの聖地化を目指すならば、競技を絞り込み、受け入れ体制の確立とともに競技施設の整備も行っていく必要がある。

8 まとめ

本研究会は、本市、ディスカバー東広島及び東広島市観光協会が推進役となり、市内観光事業者をネットワークで結び、そこに新たな分野の観光事業を投入することにより本市全体の観光資源をより充実させ、来訪客を増大させる手法の調査研究を行った。

その中で、酒蔵以外の観光資源では、他自治体との差別化は難しいのでは、との論点が出てきた。そこで、大学及び研究機関等の資源が市内に多く集積している強みを活かし、学会等のコンベンションの受け入れ態勢を、推進役である本市・一般社団法人ディスカバー東広島・公益社団法人東広島市観光協会及び公益財団広島観光コンベンションビューロー等が連携し、コーディネーター的人材を登用しながら構築し、来訪客を本市観光に結びつけることで市内観光事業者の売り上げ増大につなげることの可能性を感じとり、先進的取組みをしておられる団体及び自治体の視察を行った。

結論として、Town & Gownの取組みを通じて、東広島市にMICE及び学会の分科会等開催を積極的に誘致する体制を構築し、来訪者に向けてエクスカージョンツアーを提案することで、観光地としての東広島市の魅力を伝え、リピーターとなってもらう土台を作り、一点豪華主義ではなく酒蔵、自然、食及び体験等の総合的で間口の広いメニューを用意し、観光受け入れ態勢を作り上げていくことが本市の観光推進にとって望ましいとの結論に達した。

以上、市政に関する重要な政策等及び課題についての調査研究を行ったので、調査研究結果を報告する。

別紙報告書

令和3年11月15日 一般社団法人ディスカバー東広島との意見聴取

地域観光資源の魅力を掘り起こし、発信することで東広島市の観光振興につなげていく新しい組織にこれからの取組みに関して話を伺った。

本市エリア全域をつなぐ司令塔的な組織があれば、市全域で面的な観光コンテンツ構築も可能になると考えておられ、さらに三原市、三次市及び竹原市と連携しながら周遊性も高めていきたい方針であるとのこと。

今後の取組みの方向性は、地域を挙げて観光コンテンツを再発見し、作り出すことにあると考えておられ、高校生・大学生、農家及び広島空港等多様な主体を巻き込み、連携し、工場見学等今までにない形の観光ももっと仕掛けていきたいとのことであった。

エリア軸よりも季節性を重視し、四季折々の観光コンテンツを開発したいとのことであるが、設立後間もないため手探りの状態であり、さらに人員等の体制を強化し、様々な主体と連携して取り組んでいくことの必要性を感じた。

令和4年2月18日 公益社団法人東広島市観光協会との意見聴取

日本酒の街の魅力向上のための、市民参画による観光振興推進組織である東広島市観光協会に対して観光振興の課題について話を伺った。

DMO（一般社団法人ディスカバー東広島）が誕生し、マーケティング及びマネジメントの業務を行うようになったため、イベントの開催、パンフレット制作及び案内所運営が主たる業務となった。

課題としては、今後分業によりさらに各市町でそれぞれの取組みを行っていくとリソースの分散が起こってくるため、例えば広島県域全体のDMOで施策を一元化し、その下で地域DMOと東広島市観光協会が連携することにより一体的に取り組むような組織体制整備が必要だと考えられているとのことであるが、推進組織間の連携には現状において様々な課題があると考えておられるように感じた。要は、予算と人員の問題に収れんされるかもしれない。

令和4年7月1日 新たな観光事業についての聴き取りと市内観光事業者視察

訪日酒蔵ツアー及び吟醸酒メディア構築の事業、近くの街に外国語で過ごす体験が出来る空間を作る事業（ミニミニ外国）及びヘリコプターを活用した観光と防災を併せ持つ事業等、従来なかった事業の東広島市での展開の構想について説明を受けた。

また道の駅湖畔の里福富、有限会社トムミルクファーム（牧場と食・観光）及び株式会社リ・カムアクロス（西洋中古家具販売・グランピング）等地域でユニークな観光事業に取り組んでいる事業者の方に現状の課題及び今後の展開について伺った。

名所旧跡や風光明媚な場所等に頼ることなく、東広島市をフィールドにいろいろな仕掛けを打ち出していくことの大切さを感じた。

令和4年7月16日 留学生による観光振興策プレゼンテーション

広島大学の留学生の視点からとらえた本市をフィールドにした観光プランの提案を受けた。音楽祭及びイベントを開催し、風物詩になるほど定着させる、ホームステイにより日本の文化体験、農業体験ツアー及び大使館を巻き込んでの国際食フェス等の新たな提案がなされた。本市は多言語対応及び移動について不十分であるとの指摘を受けた。

令和4年10月5日 東広島市への観光客誘致に向けた施策の提案

東広島市の観光の現状と今後取り組むべき方向性について、大手旅行会社の企画担当者より提案を受けた。

まずは、魅力ある観光資源が点在し、それぞれがばらばらに発信しているため、魅力が伝わっていないと本市の観光資源についての分析をされた。パッケージ化し情報共有していく必要があるとの指摘を受けた。

空港が近く、自動車専用道路のアクセス及び新幹線駅もあり、さらに広島大学をはじめとする学術研究機関も多くあるため、学会等MICEを誘致し、来訪客に観光をPRし、同時に一般の旅行客を集客していくツアーを造成するのが東広島市の強みを活かした戦略ではないかとの提案があった。

令和4年11月29日 鹿児島県鹿児島市・指宿市への視察

観光コンベンション組織の中にMICE事業部を設けて活動している団体に、取り組み内容と課題に関して聴き取り・意見交換を行った。

戦略の1番目に理工系・医学系の学会をターゲットに掲げておられ、研究者の意向調査及びキーパーソン特定などの業務を行い、九州・沖縄地区の同様の団体及びMICEを推進している他自治体と情報交換を行いながら、見本市及びエキスポに展示することで精力的な誘致活動が行われている。また受け入れ体制の整備も、観光事業者との協議を通じて充実させておられる。

鹿児島市といえば観光名所も多いが、さらにMICEに特化した取り組みを本格的に行っておられる状況がうかがえた。

指宿市は、温暖な気候であるためJリーグ発足以来、プロサッカーチームのキャンプが毎年のように行われていたが、本格的なサッカー場がないことで大会及び本格的なキャンプを誘致できていないことが長年の懸案となっていた。

平成31年度からサッカー場の建設に着手され、令和3年1月から天然芝のメイングラウンド、人工芝のサブグラウンド及び天然芝の多目的グラウンドそれぞれ1面で「いぶすきフットボールパーク」の供用を開始された。

サンフレッチェ広島レジーナをはじめプロチームの合宿が次々行われ、九州地区の大会も各カテゴリーで開催され、地元競技チームの練習等も含め、すでに今年度末まで週末は予約がいっぱいのことである。

観光がメインの来訪ではないが、宿泊等の経済効果と関係人口の増大に今後も期待できるとのことである。

本市においても競技を絞って環境を整備し、キャンプ及び大会誘致による地元経済活性化、並びに地元競技者の育成を図ることが出来ると実感した。